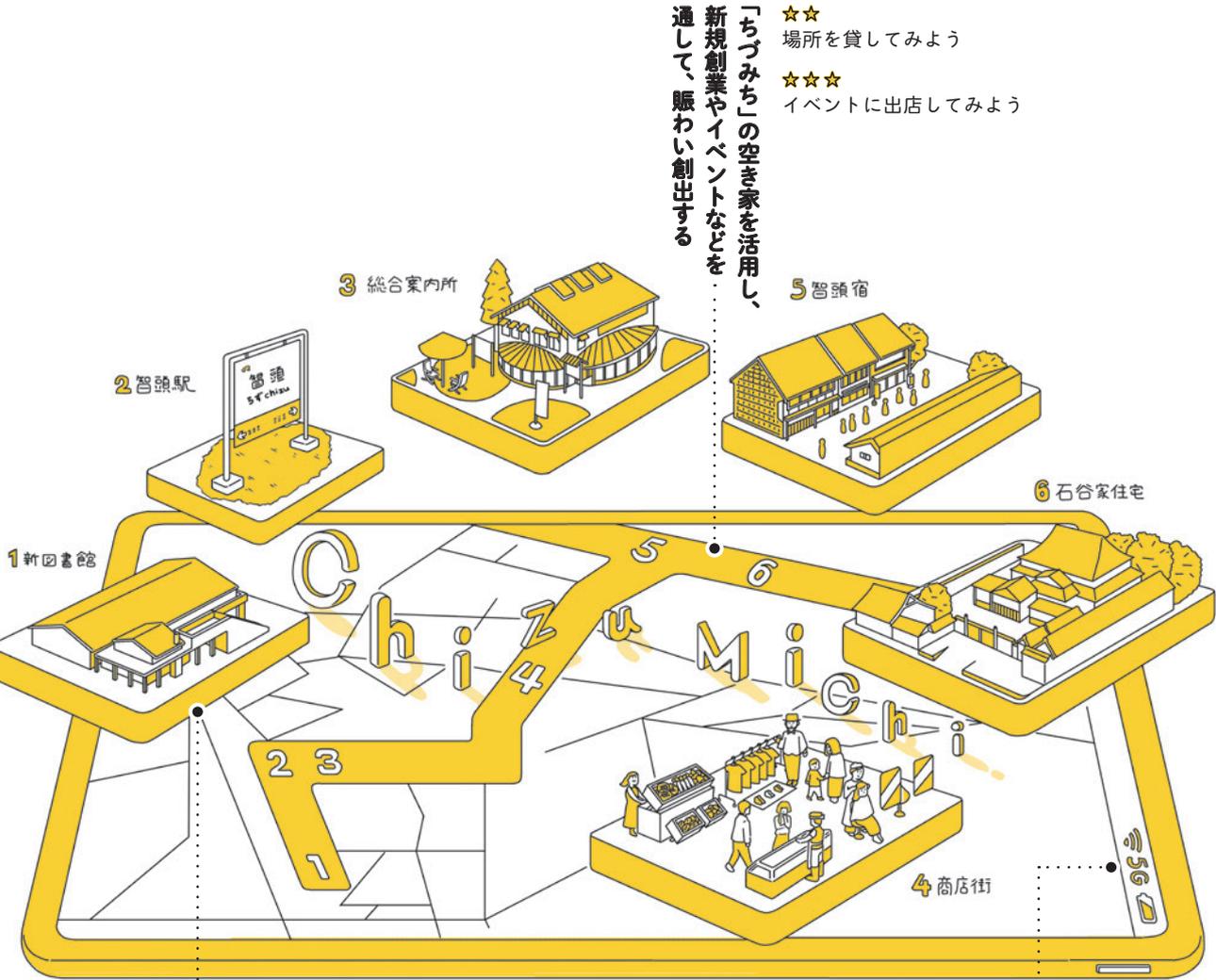


3

智頭の魅力を伝え、智頭が好きの人を増やす

自然の恵みとつながり、生活文化を丁寧に伝え、次世代に受け継ぐ取り組み



「ちづみち」の空き家を活用し、新規創業やイベントなどを通して、賑わい創出する

☆☆ 場所を貸してみよう
☆☆☆ イベントに出店してみよう

☆ 新図書館を利用しよう
☆☆ 郷土資料を提供しよう

新智頭図書館の地域資料コーナーの充実とまちとつながる事業実施

☆ 友達に遊びに来てもらおう
☆☆ 郷土料理を教えよう
☆☆☆ 民泊家庭に登録しよう

智頭の暮らしを丁寧に伝える民泊を推進

☆ イベント情報などまちの魅力を発信しよう
☆☆ 空き家バンクに登録しよう
☆☆☆ 観光ガイドをしよう

連携事業
麒麟のまち圏域

林業の繁栄とともに智頭の商店街も賑やかでした。定期的な市では、たくさんの品物が並び近隣からも多くの人やってきました。子どもたちがあちこちで聞こえ、そこらじゅうが遊び場でした。近所のおばちゃんやおじちゃんが見守りながら躰も教えてくれました。

智頭には良い意味で近代化されていないところが多くあります。今も残る昔ながらの生活様式は、立派な観光資源です。

2025年、商店街には智頭の人、外からやってきた人、若い人、歳を重ねた人、さまざまな人が入り交じって賑やかです。変化と進化を織り交ぜながら、これまでの生活文化を丁寧に伝え、次世代に受け継ぐことは、私たち智頭町民の使命です。

KPI
2024年までの目標数値

観光入り込み客数 12万人/年

図書館来館者数 1.6万人/年

民泊利用者数 500人/年

移住者数(ちづみち) 5人